

パラオ・コロール州周辺海域における不発弾(ERW)処理事業(第3期)
日本地雷処理を支援する会

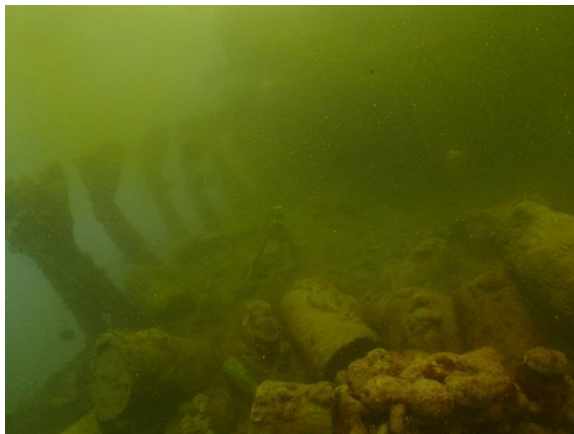
事業開始前の写真

1 戦争遺棄物も観光資源



引き潮の時には、水面に姿を現すゼロ戦の残骸

2 ピクリン酸漏洩防止処置の終了したヘルメットレック(水深 15m~30m)



亀裂補修処理により、ピクリン酸漏洩により黄色く濁っていたヘルメットレック第3 船倉付近にも透明度が戻ってきました。今期は、その透明度が維持できているかモニタリングします。

3 新たなる海域での不発弾等の探査(水深 30m~40m)

コロール州周辺海域には、まだたくさんの沈船があります。

ヘルメットレックと同様に、船倉内に危険な不発弾等がないか探査します。

